

寺社めぐり

小間子馬神社

所在地 八街市四木1925-1

明治26年4月3日の建立。

「小間子馬神社太郎防分霊」というのが正しい名称で、滋賀県大津の馬神神社の分霊である。建築は木造茅葺であったが、昭和9年木造瓦葺に改築され、更に昭和27年本殿が増築された。



日枝神社

所在地 八街市砂676

日枝神社は天正19（1591）年5月19日の創建といわれ、砂と上砂の鎮守となっている。

明治5年には、それまで村内の各所に祀られていた小祀が日枝神社の境内に集められ、神社集落となった。

境内は自然に囲まれ、春には可憐に咲くカタクリが広がり、夏は新緑、秋には真っ赤な紅葉をまとい、四季の鮮やかな風景が、参拝者の目を楽しませてくれる。



寺社めぐり

富山貴船神社

所在地 八街市富山1336-3

文政（1818～1830）年間、佐倉弥勒町の石屋が父親の病気が治るよう
に祈願し、成就したことから、貴船の神像を刻んで祀ったという。

昭和55年社殿改修の際、ご神体の底部に石屋の名前が確認され、伝承が裏づ
けられた。



北向きの道祖神

所在地 八街市榎戸218

北向きに祀られている道祖神は珍しいことから、へそ曲りの神様といわれる。
願をかけたなら満願までは、参詣する姿を人に見られてはいけない。

昔、参詣者はすぐ下の「かわらめきの河原」で身を浄めた後、他へは寄らずに
まっすぐにここに来て祈願したという。



寺社めぐり

新蔵寺

所在地 八街市榎戸755

妙立山新蔵寺は、寛永(1624~1644)年間に佐倉城主土井利勝が榎戸新田村を開発した時に、日蔵上人を迎えて創建されたと伝えられる。

本堂には土井利勝の位牌と天正年間の作とみられる日蓮上人の木像が安置され、創建当時のもとみられる山門の梁間には見事な彫刻が刻まれている。

また、土井利勝の命日7月10日には「土井様ひまち」と呼ばれる供養が行われている。



大宮神社

所在地 八街市榎戸510

新蔵寺と同時期に創建されたとみられる神社の境内には、多くの古木が残され、見事な社叢を形成している。また、堂内には長さ約3mの太い木太刀が保管されている。これはいつの頃か、地方巡歴中の香取市山倉神社の徒輩と喧嘩して手に入れたものと言われている。



寺社めぐり

皇産霊神社

所在地 八街市用草1065

寛文2(1662)年に社殿を改修した記録が残り、それ以前の創建と見られる。かつては「自在天堂」と呼ばれ、郷中地区に所在したものを村民が担いで今の地に遷したといわれる。

当時の建物は、今も参道の西側に残されている。



法宣寺

所在地 八街市根古谷827-2

長禄元(1457)年、日意上人により開基された。

平賀本土寺から布教のために塩古の郷を訪れていた日意上人が、以前から病に伏せていた根古谷城主の子息を7日間の祈祷と妙符により完治させたことで、城主はおおいに感謝し、日蓮上人の「生御影」を安置して法宣寺を創建したといわれる。



寺社めぐり

岡田馬頭観世音堂

所在地 八街市岡田120

昔、一頭の白馬が岡田の地で倒れ死んでから、様々な厄災が降りかかっていたところ、文永元(1264)年に日蓮上人が白馬の倒れた場所に観音像を据えて題目を唱え、冥福を祈ると、たたりがおさまったといわれる。

その後、法宣寺二世日税上人の時にお堂を建て、観音像を安置している。



岡田の神社集落

所在地 八街市岡田147

この神社集落には八社が祀られている。江戸時代までは村内の各所に祀られていたが、明治元年の神仏分離令の結果、この場に集められたといわれる。

老杉の根が崖を走り自然の階段を作っている。

